防災官の声 2

２０２５年

退職自衛官採用のメリット

自衛隊在任間に培われた、災害対処の実務能力(※)は、地方公共団体の危機管理対処能力を向上させます。

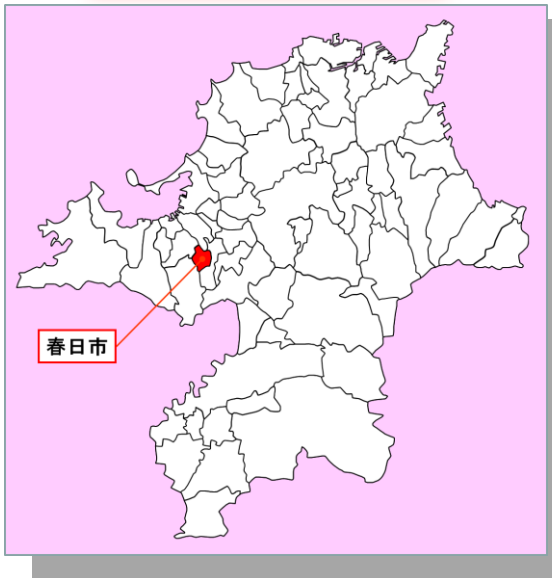
また、防災行政に関する首長等への的確な助言や自衛隊等関係機関とのネットワーク構築が期待できます。

※主な能力として
- 指揮官が様々な状況に対し、的確な状況判断ができるよう補佐（情報収集、分析等）
- 自衛隊の運用に関する知識と経験
- 訓練指導能力及び調整能力などです。

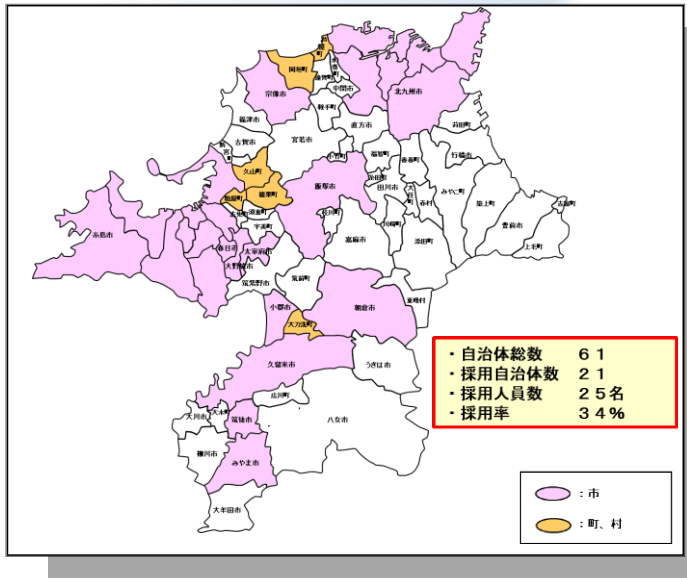
福岡県内の採用状況

福岡県を含む61市町村ある中の21の自治体に在籍。（掲載日現在） 今回は、春日市にご協力いただきました。

春日市の位置



福岡県防災職配置図



春日市

みんなで春をつくろう

春日市役所　総務部
安全安心課長　渡邉　泰三　様

春日市の概要等

人口　　：111,954人（R6.11.30）
面積　　：14.15㎢
職員数：929人（会計年度職員含む）　（R6.12.1）

退職自衛官の採用について

平成２１年度より防災対策指導員を配置し、「地域防災力の向上」、「市防災訓練の実施」、「災害発生時の対応」などの業務に従事していただいてきました。令和５年度の後任選定については、日常業務の中で地域の防災力向上に寄与することはもちろんのこと、本市であらゆる災害が発生した場合にも専門的に監督・指示・調整等の能力を発揮していただくことを期待して、地域防災マネージャーの資格を有する元自衛官を任用することになりました。

防災専門官の仕事内容について

【災害時】
・災害対策本部長への助言
・災害対策本部事務局の統括
・自衛隊との直接連携
・災害時の防災関係機関との連絡調整　など

【平　時】
・自主防災組織の育成（活動の指導及び助言、訓練の企画、助言及び実施、勉強会等の講演）
・市総合防災訓練の企画、実施及び関係機関との連絡調整
・市地域防災計画の見直し及び初動マニュアルの作成
・市国民保護計画の見直し
・自主防災組織用各種防災マニュアルの整備　など

退職自衛官を採用して

災害時において、自衛隊勤務で培われた専門的な知見や経験を活かし、災害対策本部への助言や関係機関との連絡調整を円滑に実施していただいています。

平時においても、各種マニュアル作成においてこれまでの経験や専門的知識を活かして作成していただくとともに、市が実施する総合防災訓練の準備・実施についても迅速で的確な調整や対応を行っていただきました。また、各地区で行われる防災訓練などにおいても、その内容の助言や指導、実施までスムーズに行っていただいています。

日常的に防災関係機関をはじめ、市職員、各地区の自主防災組織などとも良好な関係を築き、本市の防災・危機管理体制の強化の要となっていただいています。

退職自衛官の声

春日市　安全安心課　防災危機管理専門官　髙橋　雅宣　氏
最終勤務部隊等　自衛隊福岡病院総務部、医事課長

私は、自衛官退官後の令和５年９月から福岡県春日市役所安全安心課において、防災危機管理専門官として勤務しております。

定年退官後は、自衛隊勤務で培った識能を活かし地域に貢献したいとの思いから定年４年前に「防災士」と「地域防災マネージャー」の資格を取得しました。

「防災士」の資格取得後は、地元の防災士連絡協議会に所属し、自治会の防災訓練等にも積極的に参加し、スキルアップに心がけました。

また、入庁後は、「応急手当普及員」の資格を取得し、救急法に関する技術向上に努めました。

春日市は、利便性と自然が共存した理想的なベッドタウンとして知られるとともに、陸上自衛隊第４師団司令部の他、航空自衛隊春日基地、自衛隊福岡病院等が所在する西方防衛中枢の街でもあります。

近年、大きな災害がない地域ですが、市の中央には、警固断層があり地震対策が重要課題です。私の主要な業務は、市総合防災訓練の企画、地域自主防災組織等の防災訓練への協力、防災講話、救急法の普及実施の他、防災資器材の管理、災害発生時の自衛隊等関係機関との連絡・調整などです。現在は、「自治会避難所開設・運営マニュアル（地震編）」の作成に取り組んでいます。

市役所職員としての勤務は１年以上経過しましたが、自衛隊ＯＢとして地域防災力の向上、自衛隊・警察・消防等関係機関との連携強化に貢献できるのは、これからだと思っています。福岡県内自治体には、多くの自衛隊ＯＢ職員がいます。また、地域自治会役員の中にも自衛隊ＯＢの方が多数、いらっしゃいます。このような方々との協力が、今後の防災対策、災害時、関係機関等との連携強化につながるものと思います。

私も、微力ながら、「安全安心で、災害に強い街づくり」に貢献してまいります。